

平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の 整備に関する検討委員会（第8回）

委員会資料

令和2年11月5日（木）

奈良県県土マネジメント部地域デザイン推進局
平城宮跡事業推進室

○本資料の構成

第8回検討委員会の議事の流れ

（1）パブリックコメントについて

①パブリックコメント実施概要

②パブリックコメント実施結果概要

（2）整備計画（案）について

（3）今後の検討内容について

はじめに

平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討経緯

○朱雀大路東側地区（歴史体験学習館）の整備については、整備検討委員会で幅広い見地から意見をいただきながら、検討を進めてきた。

整備検討委員会

議題

検討概要

第1回
H30. 7/13

- ・ 検討委員会の運営手法について
- ・ 歴史体験学習館の機能等について（意見交換）

- ・ 基本コンセプト、周辺施設との棲み分け
- ・ 体験に特化した施設機能等について

第2回
H30. 8/7

- ・ 歴史体験学習館の機能について（意見集約）
- ・ 歴史体験学習館の施設について（意見交換）

- ・ 機能について地域、ターゲット、展示手法等
- ・ 施設について景観形成等

第3回
H30. 10/5

- ・ 歴史体験学習館の機能について

- ・ 地域、機能、ターゲット、体験及び展示の手法

第4回
H30. 10/31

- ・ 歴史体験学習館の施設について

- ・ 施設配置、正倉院を意匠化した建物

第5回
H31. 1/30

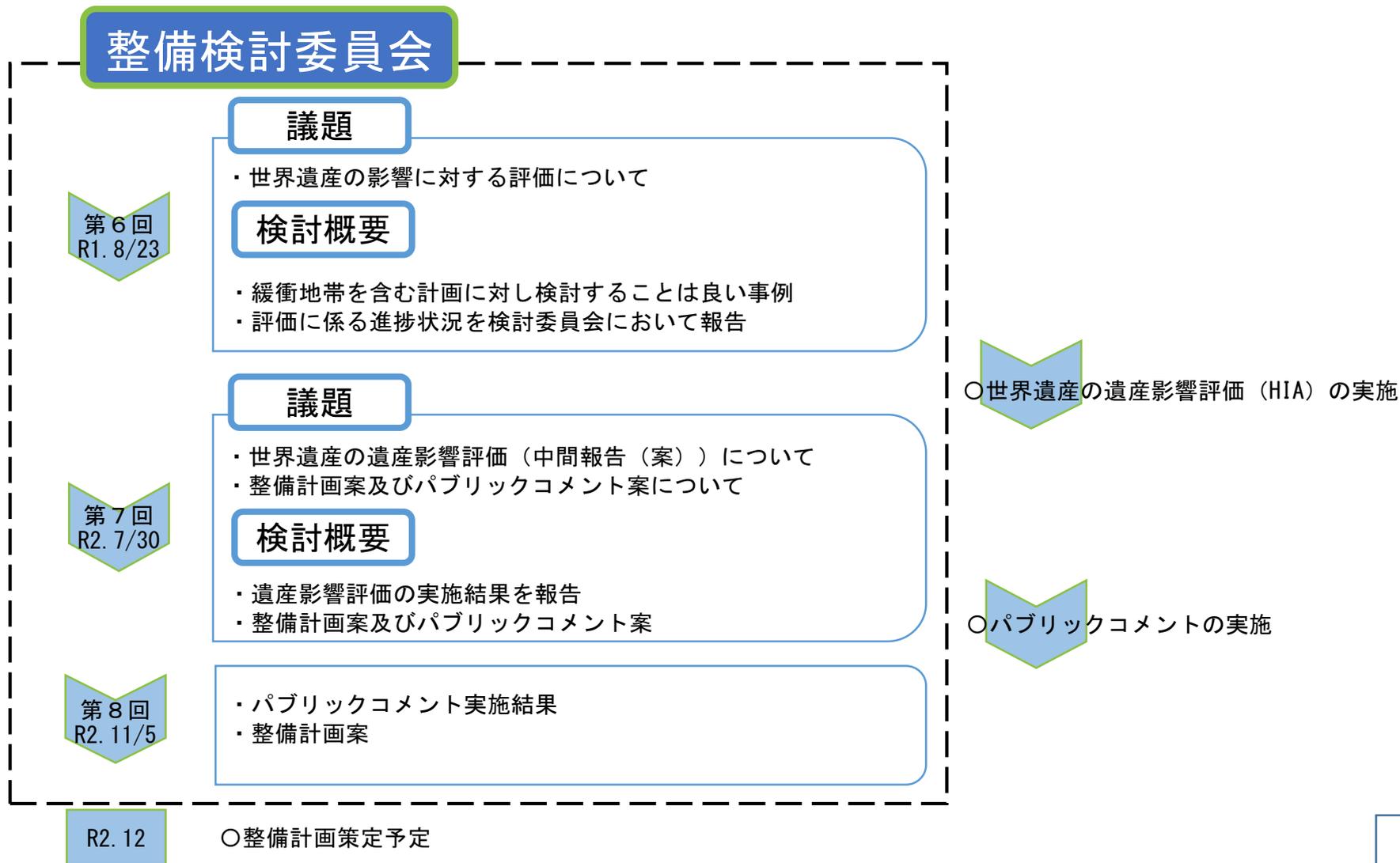
- ・ 歴史体験学習館の施設・機能について

- ・ 整備方針全体まとめ
- ・ 景観計画

○整備計画を取りまとめる段階において世界遺産の遺産影響評価（HIA）実施検討

はじめに

平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討経緯



（1）パブリックコメントについて（①パブリックコメント実施概要）

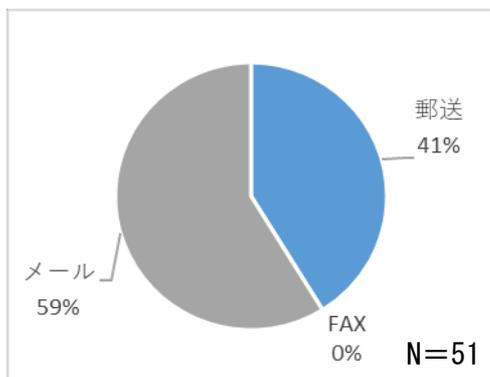
実施目的	奈良県で策定中の「平城宮跡歴史公園 朱雀大路東側地区（歴史体験学習館） 整備計画（案）」について、県民や平城宮跡歴史公園利用者から広く意見募集を行い、それらを考慮した計画策定を行うとともに、県の考え方を公表することを目的に実施。
募集期間	令和2年10月1日～令和2年10月31日（1か月間）
意見提出方法	郵便、FAX、県HPメール送信フォーム
募集の手段	<ul style="list-style-type: none">・ 概要版チラシの配布・ HPからの閲覧
概要版チラシ配布箇所	県内31箇所 （県関係施設20箇所、奈良市関係施設4箇所、平城宮跡内施設5箇所、その他関係施設1箇所）
概要版チラシ配布総数	3,000部
周知方法	<ul style="list-style-type: none">・ 県広報誌「県民だより奈良 10月号」・ 奈良県政・経済記者クラブ、奈良県文化教育記者クラブ
募集の取組	天平祭・秋での概要版チラシの配布 大学生（奈良大学、阪南大学、京都大学大学院）への周知
意見の総数	提出数51件 意見数141件



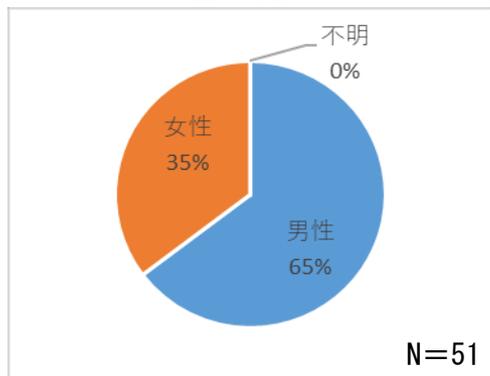
天平祭での配布の様子

（1）パブリックコメントについて（②パブリックコメント実施結果概要）

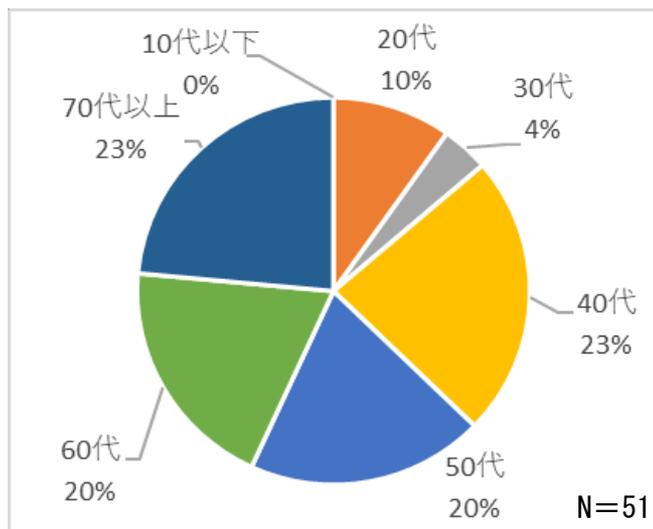
意見数	141件
意見の項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上位計画への意見 21件 ・ 歴史体験学習館整備計画（案）への意見 110件 ・ その他 10件



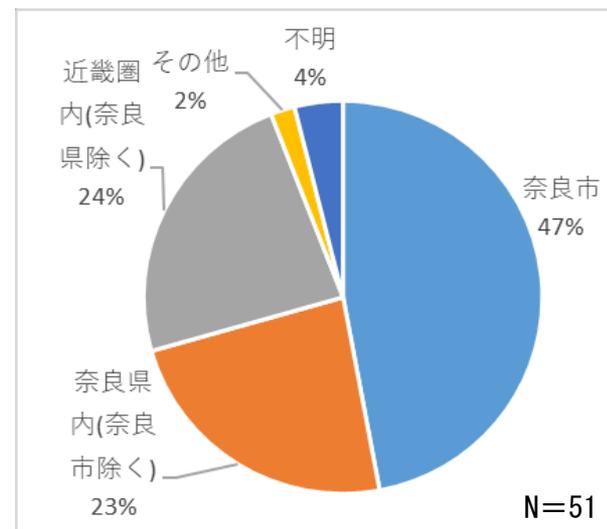
提出方法



性別



年齢層



居住地

（3）今後の検討内容について

＜来年度の検討内容＞

令和7年度の完成に向けて、来年度は、建物等の基本計画・設計を行いつつ、同時に展示内容等のコンテンツの検討も行っていきます。

加えて、施設の運営管理手法の検討を行います。

また、基本計画・設計段階において、改めて遺産影響評価を行い、世界遺産に対する影響を再度確認します。

令和2年度

整備計画策定

令和3年度

基本計画・設計
(建物等)
(展示内容・
コンテンツ)
遺産影響評価
運営管理手法
の検討

令和4年度

詳細設計
遺産影響評価
運営管理手法
の検討
発掘調査

令和5年度以降

整備工事

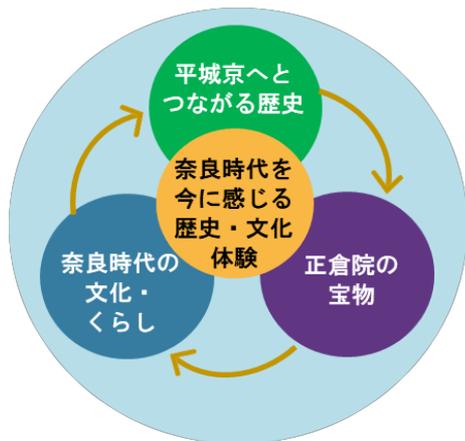
令和7年度

完成予定

整備検討委員会 適宜開催

（3）今後の検討内容について

歴史体験学習館の体験・交流テーマ



柱① 平城京へつながる歴史

【コンセプト】 国際交流を通じてどのように天平文化の発展につながったのかを学習

【体験内容】 「国際交流」や「天平文化」に着目し、飛鳥～奈良時代の重要な出来事をVRやMR技術を用いて体験

柱② 正倉院の宝物

【コンセプト】 宝物の美しさ、国際性豊かな文化に触れて華やかな天平文化を学習

【体験内容】 正倉院の宝物のレプリカを実際に見て触れて、往時の国際交流のスケールを体験

柱③ 奈良時代の文化・暮らし

【コンセプト】 国際交流豊かな奈良時代の宮廷行事や、人々の文化・くらしぶりを学習

【体験内容】 古事記、日本書紀などの文献、考古資料、木簡などから読み解けるその時代の人々のくらしを体験

各テーマから想定される体験・交流内容

柱① 平城京へつながる歴史

【コンセプト】

国際交流を通じてどのように天平文化の発展につながったのかを学習

【体験内容】

「国際交流」や「天平文化」に着目し、飛鳥～奈良時代の重要な出来事をVR (Virtual Reality)やMR (Mixed Reality)技術を用いて体験

柱② 正倉院の宝物

【コンセプト】

宝物の美しさ、国際性豊かな文化に触れて華やかな天平文化を学習

【体験内容】

正倉院の宝物のレプリカを実際に見て触れて、往時の国際交流のスケールを体験

柱③ 奈良時代の文化・暮らし

【コンセプト】

国際交流豊かな奈良時代の宮廷行事や、人々の文化・くらしぶりを学習

【体験内容】

古事記、日本書紀などの文献、考古資料、木簡などから読み解けるその時代の人々のくらしを体験

（3）今後の検討内容について

＜コンテンツのイメージ＞

柱①平城宮へとつながる歴史 × 新たな技術

- ・ 国際交流に貢献した阿倍仲麻呂や、鑑真和上などになりきったVRによる映像学習体験
- ・ 冠位十二階の制度を学ぶARによる衣装体験

柱②正倉院の宝物 × 新たな技術

- ・ 正倉院の宝物のレプリカを3Dプリンターで製作し、実物大の大きさ、形を体験

柱③奈良時代の文化・暮らし × 新たな技術

- ・ 宮廷行事や当時の人々の暮らしぶりをMRによる映像学習体験
- ・ 歴史上の人物のAIによる展示内容案内

その他

- ・ 5Gによるインタラクティブなコンテンツ運用
（例：VRやMRで、1人の来場者の行動（手を振る等）に合わせて変化したコンテンツ（コンテンツ内の演者が手を振り返す等）を、他の来場者もリアルタイムにみることができる）
- ・ 多機能デジタルサイネージによる多言語での展示の案内
- ・ 次世代モビリティによる他施設との連携

来年度より具体的なコンテンツの検討を実施